

## アマダイ通信 NO. 13

知人・友人各位

前号をポストに投げ込んだのは霞立つ頃でしょうか。都にも早や秋風の吹く季節となり、ようやく久し振りのお便りを差し上げます。テンブラ学生を何年やっても、刑務所に足掛け3年入っても、何度も司法試験にフラレても、「何のために」とは考えても「どうやって」食べて行こうと真剣に考えたことは一度もなく、何となく食べて来られた私ですが、今回50代の坂道を登り始めた途端、「訳」あって「どうやって食べて行こうか」と少しは考える羽目になり、しばしご無沙汰。ああ「我も人の子」と思いを新たにします。

### ◎人と人、人と夢をつなぎ、夢を形にする

昨秋、環境ビジネスをと色めき立ち、地下に雨水を溜めるシステムを普及する会社に参加。色々な方に賛同人になっていただきお披露目のパーティを賑々しく開いたりしました。しかし、そのパーティの席で冗談半分に何人かの方から「最初に大騒ぎすると大抵潰れるぞ」と「励まされた」のですが、新会社は資金繰りが上手く行かず、「冗談」がその通りに。年が明けて敢え無く討ち死に。思案していた所、ありがたいことに苦境を伝え聞いた何人かの方から、自分の仕事や友人の仕事を手伝えと声を掛けていただきました。

かつての日大全共闘の一之瀬君からはプレキャストの円形排水管等の土木資材を販売するソイル工業㈱を紹介していただき「東京営業所顧問」に。S33年東大三鷹寮入寮の建設省OBの石崎先輩からは、ご自身も開発に参加した水道の無い所でも水洗トイレを利用出来る「エコトイレ」の技術を持つ㈱環境開発研究所の仕事を手伝えと声をかけていただき「東京事務所長」に。一緒にプロジェクト猪の運営委員をしている桂木君からは経営する企画会社㈱メディアエンジニアリングのプロジェクターの名刺をいただき、駒場の中国語クラスの後輩青沼君からは関係する医療法人相生会の新薬の臨床治験の仕事と一緒に誘っていただきました。昨秋まで籍を置いた高橋カーテンウオールからも顧問の肩書をいただき、日本ビクターの高橋先輩の営業の手伝いも引き続き行うことになりました。

いずれも成果をみるのに時間がかかる仕事ですが、顧問料や活動費も多少はいただけることになり、思い切ってフリーに。自らをリストラしてしまった訳ですが、ようやくこの度、個人事務所を設けることに。名もアマダイ、英名「TILE FISH」から取って「ティエフネットワーク」と称し、本郷にあるS38年入寮の大橋先輩の関係するシステム開発、教育ソフト製作・販売会社「ラテイオインターナショナル」の仕事も手伝えることで、その事務所の一隅に机を借り、電話を一本引き、携帯電話をポケットに走り回る日々。

何とも心許無いスタートですが、「怪我の功名」で何時かはと思っていたフリーの立場になれましたので、もっと自由に、もっとエネルギーに、生業に、「課外活動」に、「人と人、人と夢をつなぎ、夢を形にする」ため走り回りたいと思います。これまで以上に皆さんのお世話になるかと思いますが、宜しくお願い致します。

連絡先 〒113 文京区本郷 5-1-16 NP-1E45F テイエフネットワーク

TEL03-5689-8182 FAX03-3818-1219 郵 010-708-8245

### ◎ハタハタに翠の黒髪を！

秋田名物八森鱒が獲れなくなってから幾久しく、目先のことに目の行きがちな漁師さえ絶滅寸前業を煮やして3年間禁漁したところ、最近では多少獲れる様になる。それでも膝くらいまでの岸辺で、子供の私でも網ですくい捕ることが出来るほどに群れをなし、冬の浜辺に産卵のために押し寄せた頃に比べるとゼロに等しい。乱獲で資源が細る間に、経済の高度成長と消費経済の爛熟による海の汚染、山林の荒廃が海の植生の劇的変化、磯海の荒廃をもたらし、鱒が身を隠し、餌を求め、卵を産みつける藻場が消失。「翠の黒髪」の風に揺れる如く、ワカメ、ホンダワラ、アマゴ、アラメが、フノリ、天草、モズクが波にゆらゆら揺れていた豊穡の海は、金吾楼の頭のように白い石灰質のサンゴ藻のカツラを被った岩肌がむき出しになり、磯焼けの海と化している。これでは一度帰って来た鱒も再び故郷の海に戻る気にはなれない。おまけに田舎でしか食べなかった、粘りのあるホンダワラの若芽、ギバサが結構他所でも売れる様になって、鱒の安住の場は細るばかり。

そんな心配をしていた時に、一冊の本をいただいた。境一郎著「磯焼けの海を救う」、サブタイトルが「海の医者のエコロジー」。農山漁村文化協会発行・人間選書の一冊である。著者が苦心して磯焼けで荒廃した鹿児島県の不知火海で、青森のむつ湾で、コンブの養殖で藻場の再生と漁獲増を実現し、コンブを餌として魚介類で最も付加価値の高いアワビの養殖に成功した物語である。門外漢の私が言うまでもなく、多分行政や漁協では既に取り組んでいるのであろうが、海草の養殖で磯焼けの海に藻場を復活し漁業を再生することが、秋田の寒村の活性化につながるのではとの思いを強くする。

ところでこの本は「仕事を手伝ってやれ」と三鷹寮の三谷先輩（スミスバーニーインターナショナル投資顧問部東京駐在代表）に紹介されたシマニシ科研の嶋西浅男さんからいただく。嶋西さんはシーマロックスという天然ミネラル群溶液を開発し、この黒雲母（蛭石）の硫酸溶解液は汚水の浄化、用水処理等の様々な分野で劇的な効果を発揮するミラクルミネラル液。水産養殖でも水質浄化、溶存酸素、温度・PH管理等の点で著効を発揮するので境博士も使われ、著書で紹介した訳である。農学部農業経済学科出身の、いわば半分理科系の「兜町の哲人」はこのミラクルミネラルウォーターがコンクリートや塗料等の建設関係でも大きな商売に繋がると見越し、お前なら力になれるという訳だ。見込んでくれるのはありがたいが「儲ける」ことには関心が薄く、「食べればいい」、「人の役に立てればいい」という私に、さてどんなお手伝いができるのか。

### ◎甘鯛、尼鯛を食す

能代高校同期で二田孝治代議士（東北比例区）の秘書をする高松君が、テクノバンというシステム開発の会社を起し、1年半で80人の社員を擁する会社に育て上げる。願えばかりの私としては余りの急成長に頭かなければいいなと思ったりもするのだが、彼もコンピューターの素人。そこで少しは業界の勉強になればと、マルチメディア関係で絶好調のソニーの企画の部長でデジタル戦略を練る駒場の中国語クラスの「最初の」同級生、李君と引き合わせお節介。インターネットにはまりこんで明治生命の財務の課長を止め独立した寮の後輩の杉原君も加り、情報・通信関係のこれからについて大いに話が弾む。

乗りやすい性格の私なので、どうせなら戦国時代の様相を呈しつつある情報・通信の世界で、ソニーとKDDを組み合わせたら面白いだろうと野次馬根性を発揮。KDDサービス計画部長として合従連衡の舞台回しに忙しい寮の後輩の勝部君と李君の宴席を設ける。杉原君も加わり又々大いに話し弾むも、費用がKDDとソニーのいずれから出たかは酔い潰れて知る由もなし。ただ会席のメニューに尼鯛の一夜干しがあって、これが所謂「銀座干し」か、初めてだな、尼鯛とあるからメスだけど共食いになるのかな、意外と美味しいなと考えたのを覚えている。

### ◎入寮同期松井君定例懇談会に登場す

東大三鷹クラブ第15回定例懇談会は東大大学院の松井孝典助教授（比較惑星学）に登場してもらう。学芸大学付属出身で、家は三鷹駅北口の武蔵野市。寮と目と鼻の先なのに何故か寮に入ったという不思議。本人はデモで捕まっても家にバレないから寮に入ったというが、それは“入る側”の論理。どうして東京の人間を入れたのだろうかなどと野暮な詮索は止めましょう。干場委員会でも面白そうだと思うと委細構わず入寮させていた。出鱈目もあるから面白い、それが青春。それでも捕まりもせずに寮を出て、理学系大学院地球物理学博士課程終了。米航空宇宙局（NASA）、マサチューセッツ工科大学等での研究を経て現在に至る。学生運動のがの字も知らずに大学に入り、7回捕まった田舎者の私とは大違い。ノーベル賞候補との声もありマスコミにもよく登場。NHKの名番組「地球大紀行」の「諮問委員」としても大役を果たす。NHKで科学番組部部長をしている寮同期の小野君とは仕事仲間。「三鷹寮委員会主催、プロジェクト猪後援」の五月祭のシンポジウムに2回も出て貰うもこちらの力不足で急にメンバーを変えたり、車代も払えず大変迷惑をかける。この年での出鱈目はいけない。ドサクサに紛れてここで謝っておこう。

地球の生成過程を定量的に解明した新理論で世界的に注目を集め、星も生物も宇宙史的産物で、自然とは宇宙の歴史を記録した古文書との観点から、現在メキシコのユカタン半島やキューバで、約6500万年前に恐竜絶滅をもたらした巨大隕石衝突の謎の解明を目指し、農耕と牧畜で生物圏を侵した人間圏の所有欲の拡大で地球が脅かされていると、宇宙史的観点から地球と人間の未来を説く。折から無人探査機が火星表面を走り回り「古文書」を探しているが、他の宇宙に生命の可能性はあるのか。どれだけの人間が、何時まで、どの様にして地球に生存可能か。他の宇宙に移住可能性はあるか。地球システムや人間圏という「リアルワールド」に夢を失った時、人間は「サイバーワールド」に夢を求め、オウムや酒鬼薔薇の様な事件が起こるのではないか。「サイバーワールド」に逃避するが如き昨今の若者のために、150億円で火星に探査機を送るプロジェクトを実現し、「リアルワールド」での夢を与えようと提案するなど、科学技術から環境、宇宙の成り立ち、地球の行く末、若者の教育等多岐の論点に涉り話していただく。

次回第16回は11月21日(金)に㈱リコー会長浜田広さん(S29年入寮)に「経営者雑感」という題でメガコンペディションとコーポレートガバナンスが問われる昨今の会社経営について、その後は1月が連合の鷲尾会長、3月が大阪でJR西日本の南谷社長、5月が再選を果たした茨城県の橋本知事に講師をしていただく予定です。

## ◎京都、新宿そして恵比寿

この秋、京都駅ビル、新宿のJR東日本本社ビル、恵比寿駅ビルとJR関係各社で要職を占める寮の先輩諸氏にお世話いただき、外壁の営業に尽力したビルが軒並みオープンする。恵比寿駅ビルは高橋カーテンウォールでの初仕事。同業他社の設計で進んでいたのを、池袋駅ビルの長谷川社長に紹介の労を取っていただき、開発したばかりの超軽量パネルを引提げてJR東京工事事務所に駆け込み、他社を押さえて高層棟部分、全体の6割をやらせていただく。JR東日本本社ビルでは取締役建設工事部長の今木先輩が当時本社移転プロジェクトの担当部長をしていて力になっていただく。京都では先輩とはいえ見ず知らずの南谷社長に、さすがの私も直接声を掛ける訳にも行かず、当時運輸省鉄道局財務課長をしていた後輩の国土庁丸山秘書課長に繋いでいただく。最後尾に11社目で参入、全体の1割ほど、金額で1億2,3千万円ほどやらせていただく。こうして営業3年、花開く前に止めるも50億円ほどの受注に寄与。しかし、会社は赤字続きで心境複雑。

最初に南谷先輩にお会いしていただいた時はJR西日本専務。副社長を経て、この夏遂に社長に。先日関西に出張。時間をいただくも、話題のスポットを見ずして会う訳に行かず、京都に途中下車。JR東日本関連事業部の立川駅ビル担当部長の時お世話になり、今はJR西日本に籍を置く、大学の1年後輩、京都駅ビル内田取締役営業部長に案内してもらう。今まで京都を通る度に工事中のビルを見て、横長の長方形のどでかいビルとばかり思っていたのが、中に入ったら大きく逆三角形に吹抜けになり、地上から屋上まで60mの高さを一気にエスカレーターで上る人の列は、平日の昼というのに途切れない。平行する大きな石段はそのまま劇場の観客席となり、踊り場の舞台上で音楽隊が賑やかに奏でるメロディを思い思いの格好で聞く数多の老若男女が腰掛けている。場所は京都だ。警察の音楽隊もいいが、出雲の阿国の様な河原者が髪振り乱し、きらびやかに舞うのが一番似合いそうだ。古都の景観を破壊すると大論争を巻き起こし、建てる前から話題になったビルであるが、ガラス張りの屋上と、吹抜けを渡る空中回廊からの古都の眺めは圧巻である。

入居するデパートも大入り、ホテルも活況。京都の活性化に大いに貢献し、南谷先輩もニコニコ顔。お世話になったお礼を述べ、三鷹クラブの定例懇談会の打ち合わせを済ませて高橋カーテンウォールとソイル工業、多分ピクチャーの営業も兼ねて、機嫌のいいところで次の建設プロジェクトの受皿になる大阪工事事務所長の紹介を頼む。欲張り序でに、一緒にプロジェクト猪・団塊議員ネットの活動をしている前田君の経営する企画会社の営業のために、取締役営業部長と次長を紹介していただく。こんなに欲張っては罰が当たりそうだが、忙しい先輩だ、都度顔を出されても困るだろう?!それに罰はとっくの昔にタックリ前払いしている。今更請求されても何の怖いことがあるか。それに前田君が企画しJR東海後援で赤瀬川 原平（芥川賞作家、画家）、藤森照信（東大教授、建築探偵）、南伸坊（イラストレーター）等の路上観察学会の豪華メンバーが繰り広げ、旅の手帳（7月号より連載中）、NHK日曜美術館（4月20日放映、次回11月9日）、文春ビジュアル文庫等から発信される「東海道53次大路上観察」の足を山陽道、山陰道に伸ばすのは面白い。JRにとっても直接の営業効果のみならず、文化活動の支援として企業イメージの向上にもつながるいい提案ではないだろうか

◎加藤幸子・トキコプランニング社長様、加藤登紀子様

8月2日はテアトロスンガリー青山での2回目のランチタイムコンサートを楽しみ過ぎていただきありがとうございました。8月ともなると海や山に、海外にと予定の入っている会員も多く、又、知名度の少ないロシアのアンサンブルということで50名弱と参加者はオトキさんの時の半分以下でしたが、8月の世話人会でも概ね好評でした。前回の反省点の一つだった食事の量も、少し余るくらいで丁度良かったと思います。初回は多分、気合いを入れて食材を吟味してくれたのだと思いますが、ランチタイムですし、会費も7、8千円ですから、あれくらいで満足です。最後にジャム入りのロシアンティーのサービスもありがとうございました。三鷹クラブの方は郵送料が出るくらいの黒字になりましたが、スンガリーの方は大丈夫だったでしょうか。

ロシアのアンサンブルの演奏については皆感激。夫婦で来られた会員がほとんどで、中にはお嬢さんも連れていらした方もおりましたが、これまで日本風ロシア音楽しか楽しんだことがないのに、サドコの皆さんのロシア音楽、アコーディオン、バラライカは勿論、息もつかずに歌いまくるヴォーカルの迫力には圧倒された様です。こちらのリクエストで慣れない知床旅情を無理に演奏してもらうより、サドコの得意な曲を沢山聞かせてもらった方がいい。プログラムもわかりやすい様にサドコのCDの順でいい。そして最後に2、3曲ヴォーカル抜きで「自分たちだけのロシア民謡」を歌いたいと、もう来年のコンサートの話をしています。気をきかせてサドコのヴォーカルも一緒に歌ってくれたのですが、寮のコンパで「闇鍋」をつつきながらかなり立て、先輩から後輩へと伝わる度に変調した三鷹寮のロシア民謡とでは比べる術もなく、曲を重ねる度に声が小さくなった？様な気がします。せめて来年は三菱地所の新藤さんや、五洋建設の丹羽さんのように、寮のコンパではなく、大学の合唱部で喉を鍛えた方にリードしていただこうと思います。

隔月の定例講演会とは趣きを変え、家族も参加しやすいメニューとして計画したコンサートですが、1月のオトキさんのコンサートと2回続けてどうにかかなりだったので、出来れば定例化したいと思います。4半期に1回という声もありますので、面白いメニューがあれば検討してみたいと思います。取り敢えずは来年1月31日（土）の午後に同じ要領でオトキさんのコンサートを又お願い出来るということで、ありがとうございます。小林旭のズンドコ節とは違う正調の寮歌「北帰行」を今度こそ一緒に歌う、オトキさんに教えて上げると楽譜も入手して張り切っている人がいます。又、家族連れでの楽しい交流の場としたいと思いますので、宜しくお願い致します。

それに一度プロジェクト「猪」でも硬派のシンポジウムや勉強会だけではなく、「文化的な催し」を持ちたいのですが、今回の様に参加者数に応じた費用でやっていただける機会があれば（最低限必要な参加者数は確保するの必要はありますが）是非やってみたいと思います。そして子育ても終わり、「第二の人生」の生きがい求めて、若い時にやった合唱だ、バンドだと再挑戦する同世代も多くいますので、スンガリーでそんな団塊世代の「文化祭」をやってみたら面白いだろうなと思ったりしています。かつて周りにフォークゲリラやヒッピーの運動も生み出し、一つの文化創造運動でもあった全共闘運動の中で、彼等を「なんだ軟弱な奴等め」と思っていた音痴の私が企画するのも変なものですが。

### ◎ 地獄・極楽は生きているうちだ・・・築瀬さん近況

長らく三鷹寮で寮生の面倒を見てくれた築瀬さんですが、旧寮廃止とともに故郷の栃木に帰り、息子さん夫婦と三世同居で悠々自適の生活をしていました。三鷹クラブの催しには矢板から駆け付け、遙か昔に定年になり、田舎に引き籠もった隠居老人とは見えないスーパーマン振りを発揮し皆と酒を酌み交わしていました。ところが昨秋スキーをやろうと1ヶ月に26kg減量し肝臓に負担をかけ、脳も患って倒れ、11月下旬から3ヶ月入院しました。残念ながら他に用事があり私は参加出来なかったのですが、八月末に三鷹クラブの世話人で矢板まで見舞いに行った時の話では大分回復し、元気だったとのこと。

築瀬さんによると、夢の中で過去の三鷹寮の思い出が次々に出て来るとのこと。三鷹寮は極楽だった。地獄・極楽は生きているうちだ。上司は田中さんが4年位いたが、その後は私の天下だった。同僚から「築瀬さんは極楽だね」と言われた。夜は好きなことをやる偽善者だった。寮生には、「こうしてあげた」ということはない。「こうして悪いことしてしまった」ということばかり。退院するまえからリハビリしたが、5分前の記憶などがハッキリしなくなることがある。町に出かけても帰れなくなることがあり、カードを落としたりする心配があるので、カミさん同伴でないと外出できない。車も運転出来るがカミさん同伴でないと帰れないので乗らない。食っちや寝の生活で、うるさいカミさんのお達しで、草むしりしたりしている。みなさんによろしくとのこと。

因みに築瀬昭三（レン子）氏の連絡先は 〒329-21矢板市針生73-9 電話0387-44-0848

### ◎「変容する日本社会と警察」・・・警察庁・上原君、「猪」で講演

神戸の酒鬼薔薇の事件が解決したと思う間もなく、奈良の女子中学生殺人事件で若者が犯人として挙げられれば、大阪の若者は通り掛かりの女子小学生を惨殺、埼玉の連続通り魔事件では二十歳の若者が犯行を自供しと、オウム真理教の地下鉄サリン事件以降「リアルワールド」世代には理解しにくい「サイバーワールド」になじんだ世代の犯罪が立て続けに起こり、時効成立寸前捕まった福田和子の事件などは一週間ですっかり霞んでしまう。他方、高級官僚の汚職事件、抗争を繰り返しながら企業社会に食い込む暴力団、第一勧銀・野村事件に見られる企業犯罪、外国人による凶悪犯罪、「援助交際」なる風俗事犯の氾濫。戦後50年。多様化し、岐路に立つ日本社会のきしみともいえる事件が続発します。

数年前から薬物と銃器が一般社会にまで蔓延し、薬物と銃器にまつわる犯罪が激増して、「犯罪のアメリカ化」が言われて久しいのですが、グローバルスタンダードとメガコンペディションを旗印に、後を追う様に「経済のアメリカ化」がラジカルに進みます。いや、「下部構造が上部構造を規定する」というクラシックな理論に従えば逆でしょうか。そんな日本社会の安寧はもはや望むべくもないのか。事件の背後で進行する日本社会の変容を踏まえ、これからの治安はどうあるべきか。プロジェクト猪・団塊議員ネットワークでは10月31日（金）6時半より警察の治安の第一人者、上原美都男・警察庁長官官房総務課長（S43年入寮）を学士会館（03-3292-5931 千代田区神田3-28）に招いて第8回勉強会を行います。会費は3千円（軽食、飲み物付き）講演終了後講師を囲み、1時間程度交流会を行います（会費3千円ほど）。

準備の都合上、参加希望者は前日までに「猪」（☎03-3265-2464 FAX03-3234-9026）又は小生までご連絡願います。

### ◎団塊議員ネットワーク第2回地域フォーラム

「介護・医療・福祉と日本の進路」をテーマに、5月の仙台での初弾に続き第2回団塊議員ネットワーク地域フォーラムを来年1月17（土）の午後に福岡で開催する準備を進めています。勉強会、交流会を地方でも行い地方の会員の参加の機会を確保し、併せて地域からの情報発信、地域での交流を図れればと思います。折から臨時国会で介護法案が審議されますが、成立した場合も現場での混乱が予想され、医療保険改革とも絡み医療制度の大変革にもつながります。更にその成否は行財政改革と絡み、目先の経済、21世紀の日本の進路にも大きな影響を与えます。21世紀の高齢化社会の主役となる団塊の世代は自らのために、又、支え役となる自分達の子にツケを残さないためにも、今こそこの問題をそれぞれの立場から主体的、建設的に考え、発言して行く必要があります。

シンポジウムメンバーは菅直人（会員・元厚生大臣・民主党代表）、坂井隆憲（会員・衆議院大蔵委員会筆頭理事・自民党）、古賀一成（元経済企画庁政務次官・新進党）の衆議院議員3名、長瀬道大宮崎県野尻町長（会員）、浦江明憲医師（会員・医療法人相生会臨床薬理センター長）他、コーディネーターは渡辺俊介日経新聞論説委員（厚生担当・修猷館高校出身）等を予定しています。菅代表はD-ネット創設以来の付合いで坂井代議士の働きかけもあり原則OKをいただき、古賀代議士にも賛同していただいています。シンポジウム終了後、立食形式、会費制で交流会を行います。九州事務局を医療法人相生会の浦江隆二理事長と青沼君の修猷館高校同期生（会員）にお願いして、仙台では赤字でしたが、今度は赤字にならない様に工夫したいと思います。

### ◎あの紅顔可憐な美少年は今いずこ

5月末に40年入寮組の同期会があり、「三鷹クラブ営業部長」として例年の如く出席。パレスホテル小林専務の肝煎りで、大手町のNTTの高層ビルの最上階にある「ファーストスクエア」で、遠藤昭弁護士を幹事に20名ほどで盛り上がる。席上41年入寮組の各棟ごとの入寮時の記念写真が遠藤幹事より披露される。日立製作所の小林仁朗さんが送ってくれたとのこと。わずかに色が変わり始めた3枚の天然色写真に、31年前の紅顔可憐な美少年の顔が初々しい。4年前に寮の名簿を作成した時に営業の傍ら一人々尋ね歩いて作った80名以上の同期の名簿にも載っていない「美しい十代」も沢山写っています。

さっそく遠藤弁護士から写真を借受けマスプリ。営業の際持ち歩き、写っている方には差し上げていますが、この度MC技研の杉原君にこの写真をパソコンで三鷹クラブのホームページに取り込んでもらうことにしました（URLは<http://www2gol.com/users/~mitaka/.E-mailアドレスmitaka@golcom>）。名簿に載っていない仲間がわかりましたら、干場まで連絡願います。又、三鷹クラブに入会願います。終身会費一万円です。この夏、富士電機の青木一夫君が残念なことに癌でなくなりましたが、通夜の席で奥さんにも1枚差し上げました。久振りに同席した野村証券の熊野君、大和証券の漆畑君には入会していただきました。

あらためて連絡しますが、この写真を酒の肴に11月28日（金）に同期会を開きたいと思  
います。出席者には写真をセットで差し上げます。又、これを機に来春の40年会は41年と  
一緒にやろうということになりました。来秋には隔年の42・43合同同期会がありますので、  
一度こちらとも合流してみたいと思います。

◎終りに。今日の終りに、夏の終りに・・・

夏は遥かに過ぎてしまいましたが、この夏の東京は寒暖の落差が激しかった様に思いま  
す。アカデミー賞受賞作「イングリッシュペイシエント」の冒頭の、女性の裸体の優美な  
曲線を思わせるアラブの砂世界の日没の後のような驚きです。これも三鷹寮同期の松井孝  
典助教授のいう「農耕と牧畜で生物圏を侵した人間圏の所有欲の拡大で脅かされる地球」  
の姿なのではないでしょうか。

東京砂漠の「大きな沼」に潜むアマダイ。秋の夜長、そろそろ寒さが身に染みて来る頃  
ですが、共に語る友がいて、旨い酒があって、夜も悪くないなと今宵も又、嘸きます。

◎能代山本フォーラム21・第七回講演会「介護・医療・福祉はどう変わるか」

臨時国会では介護保険法案の審議が再開され、健康保険の再度の改正が俎上に上ります。  
介護の財源は税によるべきか、保険が妥当か。国民の負担の限界は。給付内容は。在宅か  
施設による介護か。介護と医療の関係や如何に等、議論は尽きません。又、これらの新制  
度がスタートすると自治体も新たな対応を迫られ、介護の現場の混乱、病院の淘汰・再編  
も不可避となり、他方で新たなビジネスチャンスも生まれます。そこで第七回の「町興し  
講演会」は日経新聞論説委員の渡辺俊介氏に「介護・医療・福祉はどう変わるか」という  
テーマで医療と介護の現場の最新情報を話していただきます。

渡辺論説委員は昭和44年に東京大学を卒業して日経新聞に入社、厚生行政を担当して  
います。先日大阪出張の際新幹線車内でバッタリ会ったら、介護法案が通ったらどうすれ  
ばいいのか自治体もよくわからず、病院も潰れるんじゃないかというので、あちこち講演  
で忙しいとのことでした。さっそく悪乗りして、じゃ獲れたての魚とキリタンポと地酒を  
ご馳走するからうちの田舎でも話してよということで、三鷹寮で1年先輩の彼に、忙しい  
ところをお願いして能代まで足を運んで貰うことにしました。

日 時： 11月14日（金） 2時半開場 3時開会

場 所： プラザ都（能代市柳町商店街中央） 会 費： 7千円（懇親会費含む）

申込み： 能代市南元町4-44 能代山本フォーラム21事務局

飯坂誠悦迄fax か郵便で （fax ㊦共0185-54-8953）

切り取り

11月14日の能代山本フォーラム21町興し講演会

「介護・医療・福祉はどう変わるか」に参加します。

氏 名

住所

㊦

勤務先

㊦

fax